

# 放流設備の 仕様

## 常用放流設備 オリフィスゲート

### 主ゲート概要

#### ① 主ゲートの目的・機能

非洪水期における水位維持（EL.397.4m）のため、融雪出水、小洪水時の放流及び計画高水流量2,800m<sup>3</sup>/s時に200m<sup>3</sup>/sの放流を行うものです。

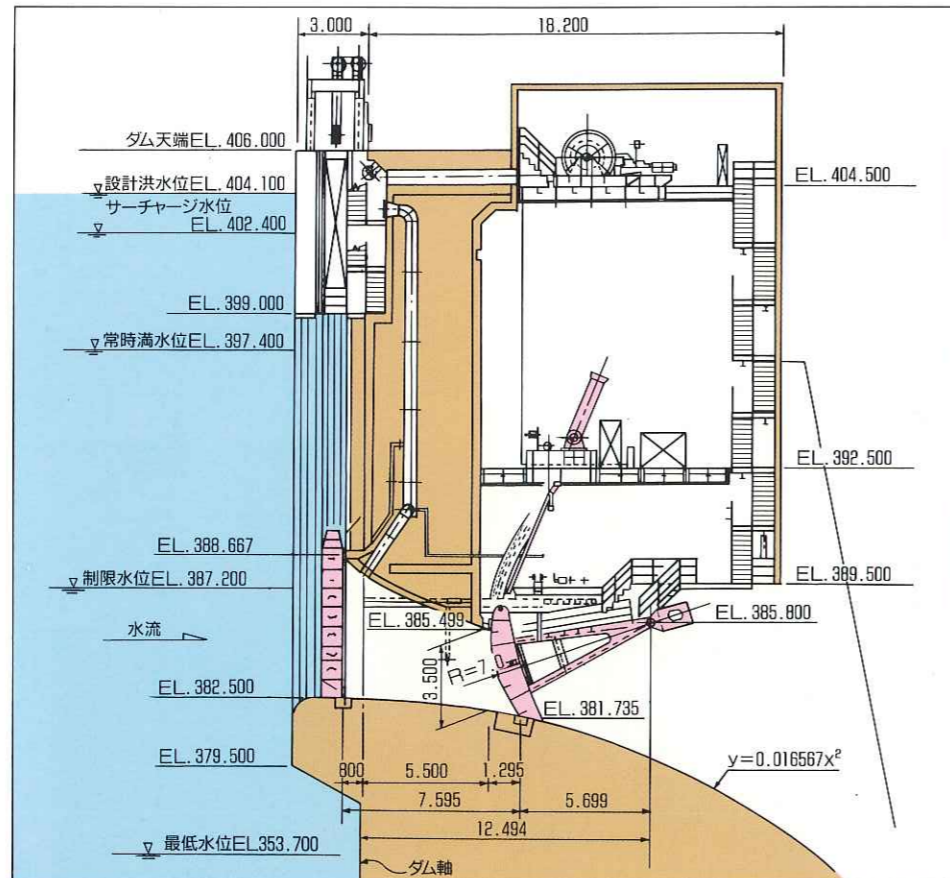
#### ② 主ゲートの水密方式

主ゲートは四方ゴム水密ラジアルゲートです。コンジットゲートと比べ、微少開度で負圧の発生が小さいため、底部給気を行っていません。

#### ③ 主ゲートの開閉方式

万一の故障に対処するため、油圧ユニットを2系統備えています。

設計圧力70kgf/cm<sup>2</sup>の扉体上吊り型揺動式油圧シリンダです。



オリフィスゲート断面図

### 副ゲート概要

#### ① 副ゲートの目的・機能

主ゲート及び放流管の点検整備、塗装塗替え時の閉塞、放流中の主ゲート異常時における流水遮断を行うものです。

#### ② 副ゲートの構造

高水圧、高揚程への対応と維持管理を考慮してローラゲートを採用しています。

#### ③ 副ゲートの特色

開閉速度は巻下1 m/min、巻上0.5 m/minとし、また、維持管理が容易に行えるように主桁間隔を広くしています。

